

離島フェア2004



平成16年12月3日から5日までの3日間、宜野湾市の沖縄コンベンションセンターで「離島フェア2004」が開催されました。

同フェアは、離島の産業振興と併せて、離島と都市部の交流及び離島相互間の交流を促進するとともに、新たな地域資源を発掘し、住民自らの創意工夫による地域づくりを支援することを目的に行われています。

平成元年から開催され、今回のフェアで16回目を迎えました。各島々の特産品の展示・販売はもちろん、各離島地域の伝統芸能の公演、離島市町村のPRコーナー等、魅力満載のイベントが実施されました。

会場は連日大勢の人で賑わい、来場者数は3日間で12万人を超えました。



人が輝く
島おこし



4 市町村PRコーナー

23 離島市町村の特色や魅力、イベント情報を一同に集めたコーナー。各市町村のブースで島の風景やイベント情報をパネル等で紹介したり、担当者が離島ファンに対して熱心に島々の説明をしていました。



上野村の紹介をしているのは、国際交流員のゲルバー・ダニエルさん。ドイツのフランクフルト出身で、学生時代に旅行して、沖縄の明るい空や海に魅せられたのが、沖縄で国際交流員をするきっかけになったとのこと。



1 特産品展示販売

23 離島市町村の農産物や水産加工品、工芸品など約800点が展示販売されました。会場内は連日賑わい、開幕直後から人だかりができ、閉幕前には売り切れる特産品もありました。また、鹿児島県名瀬市の特別出展もありました。

5 こども離島特派員 こどもTV電話交流会

宜野湾市立嘉数小学校5年5組の児童生徒が、総合学習の一環として、各会場を回り、離島について学習しました。

また、IT技術を活用したTV電話では、平良市立北小学校、下地町立来間小学校、石垣市立石垣小学校の子ども達とお互いの生活・習慣などについて情報を交換しました。

ともに、離島フェア初めての試みです。



TV電話を利用して離島の子ども達と交流

6 離島絵画 コンクール展

離島の小中学生が、自分たちの住む島を描いた絵画を集めました。島の風景を題材にした作品を美術館感覚でじっくり鑑賞することができました。

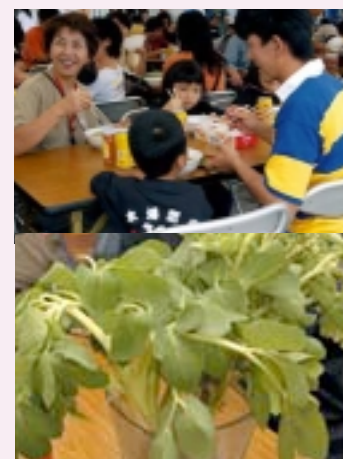
なお、このコンクールで優秀賞を受賞した新里建人くん(粟国小学校2年)の作品は、今回の離島フェアのポスターに採用されました。



優秀賞の新里建人くんの作品が採用されたポスター

2 離島食堂

離島で実際に営業している食堂が、離島の味をそのまま再現しました。沖縄本島に居ながら離島の味を堪能できるとあって、お昼時の食堂はほぼ満席に近い状態で、懐かしいふるさとの味がするそばやかまぼこに皆、満足げでした。



(写真下) 与那国島に多く自生する長命草

長命草で作った長命草そば。麺に練り込むほか、お好みで刻んだ長命草をかけていただきます。



離島フェアテーマソングを提供した
ジュン・ヤマムラさん

3 伝統芸能公演・島唄ライブ

劇場棟と会議棟の2カ所で開催された伝統芸能と離島出身のミュージシャンによる島唄ライブ。来場者は、7 離島市町村の島に伝わる伝統芸能や、離島フェアテーマソング『しあわせ浜で逢いましょう』を作詞作曲したジュン・ヤマムラさんらによる熱いライブに見入っていました。

また、今回のフェアでは、離島出身の若手ミュージシャンの発掘企画として「ミュージックコンテスト」も実施され、与那国島出身の「まいふなバンド」が見事、最優秀賞に輝きました。

お問い合わせ 県地域・離島課 TEL.098-866-2370 FAX.098-866-2068